

高齢者の相談から

「80歳をすぎて運転するのは怖いけど、免許証がなければ不便で、どうしても手放せない…」という声をよくお聞きします。

また「親に運転をやめてほしいけど、その話になるとけんかになってしまう」という息子さん娘さん、運転免許証をすでに返納した方で「最近では散歩するだけになってしまった」という意欲の減退や、「買い物はやっぱり見て買いたいのだけ…」というストレスをかかえる女性の訴えも多いものです。

こうした訴えは、その人の「わがまま」ではなく、今や住み慣れた地域で暮らし続けるための共通の関心事です。特に、受診や買い物、親しい友達との交流といった、生活のためになくはない要求であることを痛感します。

免許返納後の大垣市の施策

大垣市では、今年の5月から、高齢者の免許自主返納を促すために、鉄道・バス・タクシーのいずれかの回数券5000円程度分を贈呈する制度ができました。しかし、一度きりではこの先の移動の安心にはたりません。やはり、市民の足として頼りになる更なる交通政策が必要だと感

じます。

神戸町のバラタクシー

お隣の町、神戸町のバラタクシーをご存知でしょうか。1回200円の負担で、町内どこへでもタクシー利用ができます。目的は問いません。バラタクシーを運行するのは町から委託されたスイトタクシーと近鉄タクシーで、利用できるのは、70歳以上の方や障害者手帳を所持している方で、運転免許証を自主返納した方が対象です。1回の利用上限は2500円までですが、町内であれば、何回でも利用ができます。自己負担200円を超えた金額は、町が助成し「買い物や受診のために利用しているよ」とか、「食事に行くために、友達と乗り合わせて利用することもある」というお話もお聞きします。予約がとりにくいという点はあるようですが、今のところ制度が破たんするほどの苦情の数ではないと町の担当の方はおっしゃっていました。

大垣市は神戸町より広いので、市内どこへでもというのは難しいかもしれませんが、それでも、大垣市にあった形でのタクシー助成事業ができるのであれば、免許返納の時期で悩む高齢者と家族にとって希望の制度となるのではないのでしょうか。